

平成 30 年度第 2 回 小平市環境審議会 会議要録

1 日 時

平成 30 年 8 月 1 日（水） 午前 10 時～午後 0 時 5 分

2 場 所

小平市庁舎 大会議室

3 出席者

○小平市環境審議会委員 10 名

奥真美会長、泉慎一副会長、飯島千ひろ委員、小倉久美子委員、竹川敏雄委員、
猪熊勇一委員、小川泉委員、橋本英明委員、市川徹委員、中島裕輔委員

○事務局 14 名

環境部長、環境政策課長、環境政策課長補佐、環境政策課計画推進担当 2 名、資源循環課長、
資源循環課長補佐、水と緑と公園課長、水と緑と公園課長補佐 2 名、
水と緑と公園課緑化推進担当係長、下水道課長、下水道課長補佐、下水道課計画担当係長

4 傍聴者

0 名

5 議 題

- (1) 小平市第二次環境基本計画（平成 29 年度実績）について
- (2) 小平市地域エネルギービジョン中間見直し（平成 29 年度実績）について
- (3) 第二次エコダイラ・オフィス計画（平成 29 年度実績）について
- (4) 小平市一般廃棄物処理基本計画（改訂）の数値目標等（平成 29 年度実績）について
- (5) 小平市みどりの基本計画（平成 29 年度実績）について
- (6) 小平市下水道プラン（平成 29 年度実績）について
- (7) その他

6 配付資料

- ・小平市第二次環境基本計画、小平市地域エネルギービジョン及び第二次エコダイラ・オフィス計画の平成 29 年度実施状況等の概要について
- ・小平市第二次環境基本計画環境施策の平成 29 年度実施状況
- ・小平市地域エネルギービジョン中間見直し進捗状況報告（平成 29 年度実績）
- ・第二次エコダイラ・オフィス計画環境配慮行動評価書（平成 29 年度実施状況）
- ・小平市一般廃棄物処理基本計画（改訂）の数値目標等（平成 29 年度実績）
- ・小平市一般廃棄物処理基本計画（旧ごみ処理基本計画）数値目標等の推移
- ・小平市みどりの基本計画の進捗状況報告（平成 29 年度末実績）の概要について
- ・小平市みどりの基本計画 2010 進捗状況報告（平成 29 年度末実績）

- ・小平市下水道プラン（平成 29 年度実績）について
- ・小平市下水道プラン進捗状況（平成 29 年度実績）

7 主な意見

（小平市第二次環境基本計画、小平市地域エネルギービジョン中間見直し、及び第二次エコダイラ・オフィス計画の平成29年度実績について）

- ・太陽光発電設備の設置費用の助成件数実績が年々下がっており、伸び悩んでいる。小平市は太陽光発電でアピールしている自治体であり、補助率を上げるなど、導入の際の負担を軽減することで設置の機運を高めるような策を講じるべきである。
- ・環境家計簿の取組による二酸化炭素排出量の増減などのデータ検証や、「チャレンジ省エネ」のようなキャンペーン企画により参加者の意欲を高めるなど、これまでもされていることであるが、地道に取り組んでいくことが大切だと感じる。
- ・小平市地域エネルギービジョンの進捗状況報告によると、市のエネルギー消費量は順調に減少していることが見て取れ、一消費者としてもうれしく思う。家電が変わってきているとか、事業所も何か取組をしているとか、減少の要因などについても示されると、自分も何かできればと感じる。
- ・第二次エコダイラ・オフィス計画の施設ごとの二酸化炭素削減状況は、施設によってばらつきがあるようである。各公共施設ごとに二酸化炭素排出量の削減目標を割り当てて、施設管理の当事者に意識してもらい、自主的にエネルギーの削減に取り組むようにさせてはどうか。
- ・第二次エコダイラ・オフィス計画の施設ごとの二酸化炭素削減状況の表部分にも、二酸化炭素排出係数を記載した方がよい。
- ・市民出資型の太陽光発電システム設置の取組が 5 か所で行われているのは素晴らしいことである。こうした市民出資型の太陽光発電システムで発電した電力を電力会社に売っただけではなく、市内の太陽光発電による電力を買い取ることで、電力の地産地消を進めることを検討されたい。
- ・太陽光発電については、今後固定価格買い取り制度の問題などがあり、自家消費が進むと思われる中で、市内への蓄電池の普及についても検討されたい。
- ・あかしあ通りで、試験的に陽光桜に植え替えたという施策については、もう少し丁寧な説明を加える必要がある。

（小平市みどりの基本計画の平成 29 年度実績について）

- ・成果が上がっていない重点施策について、順調に成果を上げるためには、事業をもう一度見直す必要がある。例えば、「オープンガーデンの推進と連携」では、新規開設を増やすために支援や補助を出すなど、検討するべきである。

（小平市下水道プランの平成 29 年度実績について）

- ・浸水対策は、ほぼ計画どおり終了しているが、低地については、近年の大きな台風や大雨があった場合、今の整備の内容で十分なのか、もっと対策をしなければならないのかといった心配がある。また、地形によっては、近隣自治体からの影響を受けて対策が必要となる危険性もあると思う。